



交通ルートマップ

交通のご案内 (十津川温泉まで)

- お車でお越しの場合
 - 五條からR168を南へ72km (約1時間40分)
 - 新宮からR168を北へ50km (約1時間)
 - 白浜からR311を東へ本宮町を經由78km (約1時間40分)
- 電車・バスでお越しの場合
 - 近鉄大和八木駅から奈良交通バスで約4時間25分
 - JR五条駅から奈良交通バスで約3時間10分
 - JR新宮駅から奈良交通バスで約2時間15分
 - 本宮大社前から奈良交通バス・村営バスで約30分

旅のお問い合わせ 十津川村観光サイト

- 奈良県ビジターズビューロー 0742-23-8288
- 十津川村観光協会 0746-63-0200
- 野迫川村産業課 0747-37-2101
- 田辺市熊野ツーリズムビューロー 0739-26-9025
- 高野山観光情報センター 0736-56-2780
- 高野山宿坊協会 0736-56-2616
- 熊野本宮観光協会 0735-42-0735
- 三光タクシー(株)(十津川) 0746-64-1234
- ※荷物搬送サービス、貸切バス、タクシー

企画・編集
 十津川村役場 企画観光課
 TEL 0746-62-0004 (直通)(土・日・祝日を除く) FAX 0746-62-0210
 〒637-1333 奈良県吉野郡十津川村小原225-1
 E-mail kankou@vill.totsukawa.lg.jp 2025.5.

世界遺産熊野参詣道登山マップ
 熊野参詣道小辺路
 KUMANO-SANKEIMICHI-KOHECHI

世界遺産を歩く。



紀伊山地の霊場と参詣道
 奈良県十津川村

熊野参詣道小辺路 [紀伊山地の霊場と参詣道]

熊野参詣道小辺路は、真言密教の総本山・高野山と熊野本宮という二大聖地を最短距離で結ぶ参詣道で、熊野本宮から高野山へ向かう場合は「高野道」とも呼ばれていました。

伯母子峠・三浦峠・果無峠など1000m級の峠を5つ越えて熊野本宮へと至るハードなルートで、途中は山登りのきついアップダウンを繰り返しますが、石仏や地藏、苔むした石畳、茶屋跡や屋敷跡等、昔の古道の雰囲気や数多く残っています。

この参詣道は、ほとんどが山中を通り、昔ながらの歩き旅を体験することができます。また、標準3泊4日で全踏破できます。



① 高野山～大股 P2,P3

高野山の中心部にある、金剛三昧院の参道から熊野本宮への小辺路が始まります。金剛三昧院入口で分かれた小辺路は、女人堂跡の残るろくろ峠、薄峠、大滝の集落を過ぎ、高野龍神スカイライン(国道371号)、林道タイノ原線の舗装道を歩くこととなりますが、水ヶ峰屋敷跡や平辻の道標地藏の周辺に古道の面影を見ることが出来ます。

② 大股～三浦口 P4,P5

大股からの道は急なつづら折れの急坂で始まります。萱小屋跡を過ぎ、松峠を越えると、いよいよ伯母子峠です。伯母子峠から15分程登ったところにある伯母子岳からは360度広がる景色を望めます。伯母子峠からの下りは左側が切れ落ちた山抜け跡等を通り、上西家跡からは、最近になって確認された旧道を進みます。途中、100m以上も続く石畳跡も残っています。

③ 三浦口～十津川温泉 P6,P7

神納川にかかる舟渡橋を渡ってすぐの三浦集落には石畳も残り、棚田が美しく広がっています。そこから少し登ったところにある吉村家跡には、防風林の役目をしたといわれるねじ曲った大杉が見られ、さらに三浦峠までの道中には、道標地藏や二十五丁、三十丁の丁石等があります。三十丁石の近くには水場もあり、山登りの疲れを癒してくれます。三浦峠からの下りは比較的緩やかで、古矢倉跡・出店跡・矢倉観音堂を経て西中へとたどりつきます。

④ その1 十津川温泉～八木尾 P8,P9

果無峠を越える道は、十津川村蔵尾から田辺市本宮町八木尾へ至る参詣道で、小辺路最後の難所です。この道には三十三体(小辺路沿いには二十九体)の観音石仏が祀られ、道行く人々の安全を見守ってくれています。果無峠への登りは急ですが、木々の生い茂った道には石畳も残り、古道の雰囲気や漂わせています。道沿いの石仏の表情を楽しみながら、七色分岐を過ぎ、八木尾で国道に合流します。

④ その2 八木尾～熊野本宮大社 P10

八木尾へ降りると国道を進むこととなりますが、三軒茶屋跡で、中辺路と合流し、熊野本宮大社への旅はクライマックスになります。熊野の森を熊野本宮大社めざして30分も歩けば、熊野本宮大社裏鳥居手前にある祓殿王子です。昔の参詣者は、旅の汚れをここで払い清めて熊野本宮大社に詣でたといわれています。



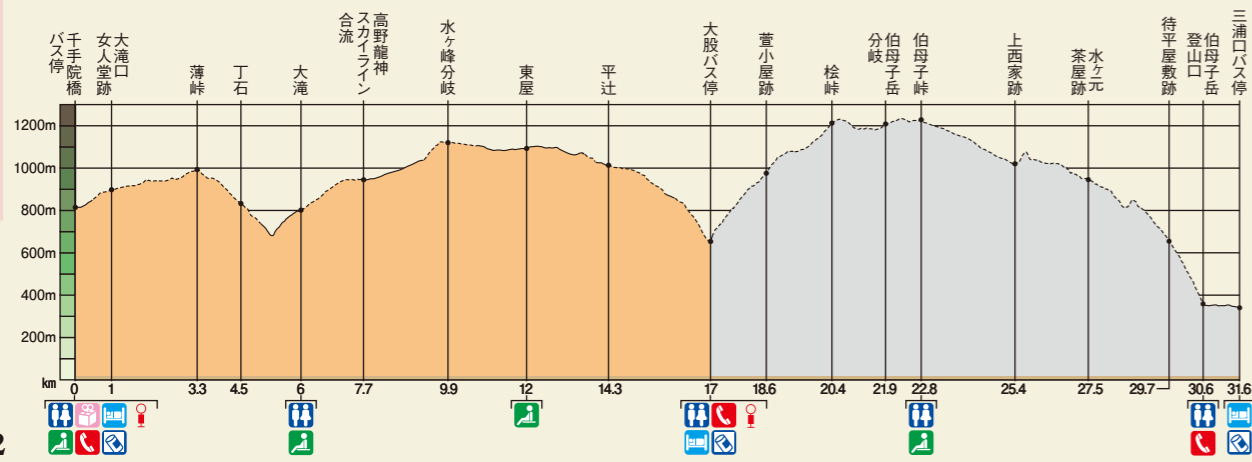
- 登山に当たっての注意
- 行程** あらかじめコースのみどころ、地形、距離、好ましい季節などを十分に調べて、自分の好みや体力にあったコースを選びましょう。行き帰りの乗り物の時間なども調べ、余裕のあるプランを組んで出かけましょう。
 - 装備** 衣服：帽子、長袖・長ズボン、履き慣れたトレッキングシューズやスニーカー。持ち物：弁当、水筒、雨具、タオル、救急薬品、ビニール袋、替替え、防寒具、コンパス、地図、あめ・チョコなどの甘いもの。
※持ち物は必要最小限にとどめ、すべてリュックに入れて背負い、両手があくようにしましょう。
 - 天気** 天気予報に注意し、天候が悪いときは無理せず予定を変更して、天気の良い日にゆくり歩きしましょう。
 - 行動** 山歩きは、少なくとも2人以上のグループで行動しましょう。歩く前には軽い体操などで身体をほぐし、歩く速度はグループの人達の歩くペースに合わせてみましょう。
 - 心得** 山道などには、人に危害を及ぼす危険な動植物がいることがあります。音の出る鈴などを必ず身につけましょう。特にクマ、マムシ、ハチやウルシなどには注意が必要です。

マナーを守って、楽しく歩きましょう。

- 入山時には、登山届を提出しましょう。
- ゴミ(弁当からや空き缶・ペットボトル等)は、必ず持ち帰りましょう。
- 参詣道沿いの植物を傷つけたり、自然の草花を持ち帰ったりすることはやめましょう。
- 歩きタバコやポイ捨ては絶対にやめ、喫煙マナーを守りましょう。
- お互いに気持ちよく挨拶を交わしましょう。
- 山中人気のない所や、携帯電話の通じないエリアもありますので、事前に計画をたて、無理のない行程で歩きましょう。



歩行距離 16.8km
歩行時間 6～8時間
累積標高(上り) 690m
累積標高(下り) 840m



周辺のみどころ

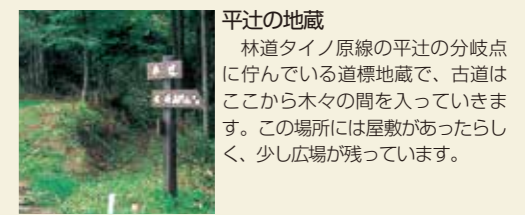
●高野山までのアクセス
大阪方面からは、南海高野線「難波駅」を起点に高野山極楽橋行き特急・快速急行・急行を利用して終点「極楽橋駅」へ。「極楽橋駅」からはケーブルカーを利用して「高野山駅」まで。「高野山駅」からは、南海りんかんバス奥の院前方面行き他を利用して「千手院橋(東)」バス下車。



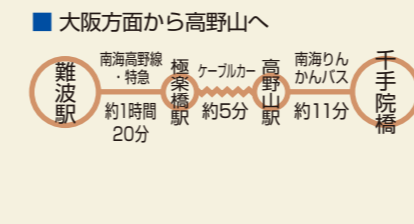
大滝口女人堂跡
ろくろ峠にある大滝口女人堂跡は、高野山内への入口に設けられた7つの女人堂の一つでした。現在は、不動坂口女人堂だけが残っています。



丁石
御殿川の鉄橋への急坂手前には「くまの本宮より十七里」と刻まれた丁石がひっそりと建っています。熊野本宮は約70km先です。



平辻の地蔵
林道タイノ原線の平辻の分岐点に行んでいる道標地蔵で、古道はここから木々の間に入っていきます。この場所には屋敷があったらしく、少し広場が残っています。



■大阪方面から高野山へ
南海高野線 特急こうや停車駅
難波、新今宮、天下茶屋、堺東、金剛、河内長野、林間田園都市、橋本、極楽橋
南海高野線 快速急行・急行停車駅
難波、新今宮、天下茶屋、堺東、北野田、金剛、河内長野、三日月市、美加の台、林間田園都市からの各駅
急行は上記河内長野までの停車駅と河内長野からの各駅

●コース途中の歩き方
金剛三昧院入口ではまっすぐ進まず、右折して道を登っていきます。また、高野龍神スカイライン(国道371号)合流後は、車道を歩くので、車には充分注意が必要です。
■高野山のお問い合わせ
高野山宿坊協会: TEL 0736-56-2616
高野山観光情報センター: TEL 0736-56-2780

●歩き終えたら
大股バス停に到着後の交通機関はシーズンによって利用出来ないことがありますので事前にお問い合わせ下さい。周辺には数軒の宿泊施設がありますので、当日は宿泊して翌日続けて伯母子峠越えを歩くか、翌日午前中のバスがご利用できます。
■宿泊等のお問い合わせ
野迫川村産業課: TEL 0747-37-2101

■宿泊施設連絡先
ホテルのせ川 0747-38-0011
民宿かわらび荘 0747-38-0157

高野山～大股

大股～三浦口

三浦口～十津川温泉

十津川温泉～八木尾

八木尾～熊野本宮大社

高野山～大股

大股～三浦口

三浦口～十津川温泉

十津川温泉～八木尾

八木尾～熊野本宮大社

源泉かけ流し

歩行距離 18km
歩行時間 7～9時間
累積標高(上) 815m
累積標高(下) 1050m

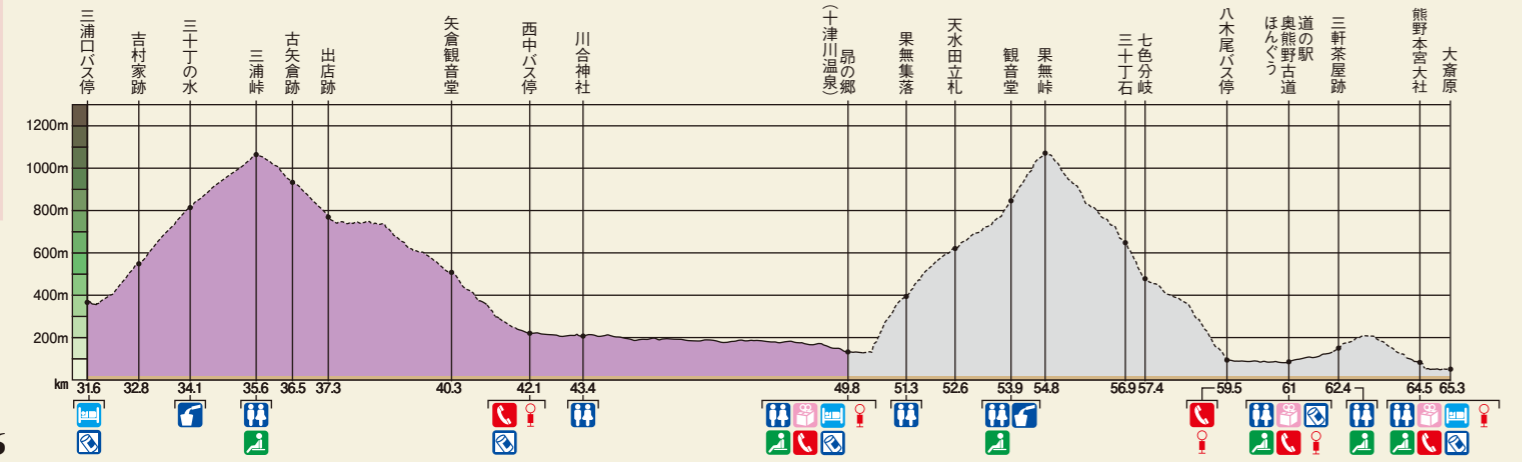
源泉かけ流し

凡例

三浦峠越 [三浦口～十津川温泉]

果無峠越 その1 [十津川温泉～八木尾]

至松柱



周辺のみどころ



吉村家跡防風林

三浦集落を登った道沿いには、防風林と思われる巨大な杉があります。胴回り4～8mで樹齢500年前後と推定され、傍らにはかつて旅籠をしていたという吉村家の屋敷跡があります。



三十三石と地蔵

吉村家跡からの急坂を進むと、三十三丁の水の立札が見えます。三十三石はその少し上に道標地蔵と一緒に立っています。三十三丁の水で一息ついて、三浦峠からの下りは、距離は長いですが、比較的なだらかな道です。

●ご宿泊は

十津川温泉には旅館・民宿が集まっています。泉質はナトリウム炭酸水素塩・塩化物泉で、美肌と保湿両方の特徴を持つ温泉です。詳細は11ページをご覧ください。

また、十津川村には泉質の異なる、湯泉地温泉・十津川温泉・上湯温泉の3つの温泉地があり全ての公衆浴場と温泉宿は「源泉かけ流し」で極上の温泉です。

●歩き終えたら

西中大谷橋または西中バス停に到着してから十津川温泉までは徒歩約2時間かかります。なお各バス停から十津川温泉行きの村営バスが運行されていますが、便数が少ないので事前にお問い合わせ下さい。

村営バス運行管理事務所 TEL.0746-64-0408

●宿泊等のお問い合わせ
十津川村観光協会：TEL 0746-63-0200

●バス運行時間(村営バス西川線) バス料金550円(片道)

バス停	7:16 (毎日運行)	10:07 (毎日運行)	14:01 (毎日運行)
西中大谷橋	7:16 (毎日運行)	10:07 (毎日運行)	14:01 (毎日運行)
↓			
十津川温泉	7:49	10:37	14:31
↓			
十津川温泉	6:39 (平日)	9:36 (毎日運行)	11:40 (毎日運行)
↓			
西中大谷橋	7:09	10:06	12:13

高野山・大股 三浦口 三浦口～十津川温泉 十津川温泉～八木尾 八木尾・熊野本宮大社

世界遺産熊野参詣道登山マップ 果無峠越 その1 [十津川温泉～八木尾]

歩行距離 10.2km
 歩行時間 約6～8時間
 累積標高(上り) 1075m
 累積標高(下り) 1170m

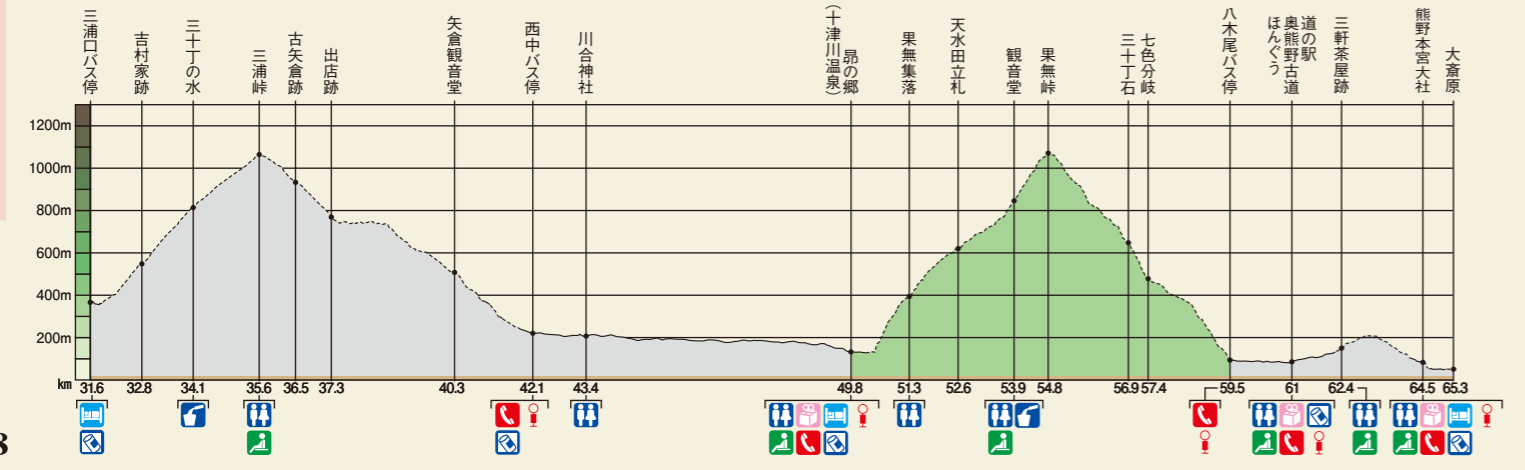
果無峠越 その2 [八木尾～熊野本宮大社] P10

凡例

- トイレ
- 公衆電話
- 自販機
- 休憩所
- 温泉
- 宿泊施設
- 水飲み場
- 見晴らしポイント
- 店・売店
- 三十三観音
- 小辺路道標
- その他の道標
- バス停
- 携帯感度 (docomo) アンテナ本数
- Wi-Fiスポット
- 未舗装道・山道
- 舗装道路
- 小辺路道標

周辺のみどころ

- 果無峠 (にほんの里100選) 果無峠登山口からの急な石畳を登ったところに、昔茶屋を営んでいたという数軒の集落があります。来た道を振り返ると、十津川温泉方面の眺望が広がります。
- 観音堂 二十一番観音石仏を過ぎ、急な階段を上りきった高台に、三体の観音像が安置された観音堂があります。ここには果無峠越で唯一の水場があり、ここで休憩をとって果無峠をめざします。
- 果無峠 果無峠には、17番観音石仏が祀られ、手前に壊れた宝篋印塔が残っています。また、石地力山・ブナの平方面の果無山脈縦走路が交差しています。



コース途中の歩き方
 果無峠登山口からは、急な登り坂が続きますが、観音石仏を数え、眼下の美しい景色を眺めながらゆっくりと歩いてください。途中水場・トイレが1箇所しかありませんので、事前にご準備ください。

バス時刻表 バス料金/本宮大社→十津川温泉980円 (片道) / 八木尾→十津川温泉780円
 本宮大社 → 八木尾 → 十津川温泉
 11:20 (奈良交通) …… 11:30 …… 12:14
 15:26 (村営バス) …… 15:36 …… 16:03
 ※バスの時刻・料金は、運行ダイヤの改正等により変更になる場合がありますので、詳しくは各バス運行管理事務所へご確認ください。

大阪方面から
 難波駅 約35分
 近鉄大阪線 急行・快速急行
 大和八木駅 約4時間
 奈良交通バス

十津川温泉までのアクセス
 近鉄大阪線「大和八木駅」を起点に、近鉄南大阪線「高田市駅」、近鉄御所線・JR和歌山線「御所駅」、JR和歌山線「五条駅」を経由して、十津川温泉方面に運転している奈良交通のバスを利用し、「十津川温泉」バス停下車。バス停周辺に旅館・民宿が集まっている他、少し離れた上湯温泉にもお宿があります。

高野山・大股
 大股・三浦口
 三浦口・十津川温泉
 十津川温泉・八木尾
 八木尾・熊野本宮大社

高野山・大股
 大股・三浦口
 三浦口・十津川温泉
 十津川温泉・八木尾
 八木尾・熊野本宮大社

